

「前立腺肥大症について」

阿蘇中央病院内科の坂口一寿かずひさです。今年で31歳になります。今年の4月からこちらで勤務となっています。今後ともよろしくお願いいたします。さて、今回は男性の気になる疾患として前立腺肥大症について紹介します。



■前立腺肥大症とは？

前立腺肥大症は40歳を過ぎた男性によくみられる病気です。前立腺は膀胱のすぐ下にあり、ちょうどクルミほどの大きさで、内部に尿道が通っています。この前立腺が加齢とともに肥大することにより、尿道が圧迫されて、排尿障害が起こります。ガンとはちがって良性の増殖ですので、生命にかかわる病気ではありませんが、放置すると尿が全くでなくなる（尿閉）こともあります。

■どんな症状？

第1期（膀胱刺激期） ↓ 第2期（残尿発生期）
↓ 第3期（慢性尿閉期）
閉塞症状

排尿が始まる（終わる）まで時間がかかる。勢いが弱い。残尿感ある。出にくい、出ない。



刺激症状

1日に何度もトイレに行く。夜間頻尿である。急に排尿したくなる。我慢できずに失禁する。

■検査と診断は？

尿流量測定

（排尿障害の程度を数値化して表します。）

直腸診（前立腺の状態を診察します。）

超音波診断

（前立腺の腹側の状態、残尿の量が推定できます。）

腫瘍マーカー検査

（前立腺ガンとの鑑別をします。）

などです。

■病気になるないためには？

オシッコを我慢しない！

排尿を我慢すると尿閉になることがあります。

体を冷やさない！

特に下半身を冷やさないようにしましょう。

適度な運動をしよう！

無理のない範囲で行ってください。持病のある人は主治医に必ず相談して下さい。

便秘に気をつけよう！

膀胱も腸と同じ平滑筋なので、便秘の人は排尿状態が悪化の可能性があります。

もし病気がかかっていたら？

排尿困難や異常が少しでもみられたら、早めに泌尿器科や内科に受診して下さい。

治療には、内科的治療（薬物療法）と外科的治療（手術）があります。

（手術）があります。

泌尿器科や内科に受診して下さい。

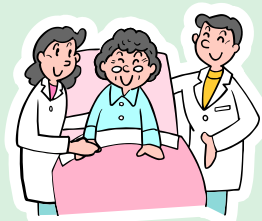
治療には、内科的治療（薬物療法）と外科的治療（手術）があります。

「訪問診療について」

阿蘇中央病院では、平成19年4月より訪問診療を行っています。往診とは違って、病院に来ることが困難な患者さんに対して、定期的に家庭を訪問し、診察・バイタルチェック・血液検査 etc を行い現在の患者さんの状態を把握したうえで、必要な薬を処方することを目的としています。

訪問診療の対象となるのは、阿蘇中央病院かかりつけの患者さんあるいは阿蘇市外の病院にかかり通院することが困難な患者さんが対象となります。訪問診療の回数は患者さんの病状に合わせて、毎週1回・隔週1回・月1回行っています。

訪問診療を希望される方あるいは詳しい内容をお知りになりたい方はお気軽に阿蘇中央病院訪問診療係へお電話下さい。 ☎ 34 - 0311



当院では診察の後、尿をためてもらい、腹部エコー検査で前立腺の大きさを調べます。必要に応じて、血液検査を追加したり、投薬や、泌尿器科への紹介を行います。

前立腺肥大症は、男性であれば誰でもなる可能性があります。不安や心配な点がある場合は、かかりつけ医に相談しましょう！！